



学校だより

平成29年6月30日
横浜市立豊田小学校
7月号

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

「修学旅行での学び」

豊田小学校教育目標

児童支援専任 工藤 然理

豊かにかかわり、じっくり考える ☆ 豊田っ子

キラッとかがやく

6月21日から23日まで6年生と一緒に片品・日光修学旅行に行ってきました。修学旅行を通して、学校教育目標に向かう姿が見られました。



【豊かにかかわる】

クラスごとに民宿に泊まりました。夜の振り返りの時のことです。「民宿をやっていてよかったことは何ですか？」子どもたちが、おかみさんにインタビューを始めました。自分から片品村の自然、片品村の人々にかかわる、それは、「人・もの・こと」とかわるすばらしさ、楽しさを子どもたちが知っているからだと思います。



【じっくり考える】

「すいとん作り」では、かまどを作るための石集めから始まります。石を組み合わせて、安定したかまどにするのですが、なかなかOKがもらえません。グループで「～したらどうかな?」、「こっちの方がいいんじゃない?」などと真剣に考えます。そして、火をつけるのがまた一苦勞。じっくり考え、試行錯誤を繰り返して、やっと食べられる「すいとん」。思考、協力のつまった味です。



【キラッとかがやく】

「レクを始めます。」という声上がり、レクが始まります。6年生全員が室長、食事係、レク係などの役割があります。一人ひとりが自分の役割を果たすことで、活動が円滑に進みます。活動がうまくいくと、「楽しかった。」「ありがとう。」という言葉が自然と出てきます。このようなかわりをつなげていく言葉のやりとりが達成感や自己有用感につながっていくのだと感じます。

学校生活で^{つちか}培ったことを活かした学びがあり、6年生のすばらしい姿がたくさん見られた修学旅行。常に学校教育目標に向かって取り組んできた成果と言えるかもしれません。これからも学校教育目標をよりどころに、さらなる『キラッとかがやく豊田っ子』を育てていきたいと思ひます。